

ITに期待するものが、SoR (System of Record) からSoE (System of Engagement) へと、大きく軸足が変わった今、システム開発においてはこれまでのサービス形態をドラスティックに変革することが求められています。そんな時代を生きるSI企業に必要な新人研修とはなにか？2019年度の新人研修の一部にカサレアルのカリキュラムを選んでくださった日本事務器様の事例を紹介します。

日本事務器ご担当岡田部長、鶴見マネージャ、本間様に導入の経緯から育成に対する捉え方や今後の展望についてお話しをお伺いしました。



本間 真一 様

日本事務器株式会社
技術本部 技術企画部
技術企画グループ
リーダー



岡田 智義 様

日本事務器株式会社
技術本部 技術企画部
部長



鶴見 治雄 様

日本事務器株式会社
技術本部 技術企画部
技術企画グループ
マネージャ

すべてはお客様に勝ち組になっていただくために・・・

1924年の創業以来、全国各地域のさまざまな業種・業態のお客様に多彩なICTソリューションを提供し、お客様の事業推進をサポートされてきた日本事務器様。この長年の経験のなかで着実に積み重ねてきた課題解決力をベースに、時代とともに高度化・多様化し続けるIT環境や、社会的ニーズの変化を見据えたソリューションを提供されています。

近年は、サービス事業の比率を高めることを目標に様々な取り組みをされてきました。プロダクトを共同開発し、アジャイル開発の進め方やノウハウを学ぶことのできるサービス「Pivotal Labs」を導入したり、個別プロジェクトにアジャイルコーチを依頼したりするなど主に中堅社員向けの施策を進められていました。

そんな変革の次の一手として、カサレアルの新人研修を選んでいただきました。

▶ カサレアルの新人研修との出会い

最初に新人研修を知っていただいたのは鶴見マネージャ、本間様にご参加いただいたカサレアルのセミナーでした。本新人研修カリキュラムの監修者でもあるグロース・アーキテクチャ&チームズ 株式会社 代表取締役社長の鈴木雄介氏もお招きしたセミナーです。

▼セミナーの様子はこちら

開発現場から考える
プロジェクトで活躍する新入社員の
育て方とは？



鶴見マネージャ、本間様は、カサレアルがセミナー内でお伝えした昨今の新人研修の課題に深く共感してくださいました。

また、Git/GitLab、Spring、React等開発現場で使い始めていた開発ツールや開発技術と新人研修で使用する開発ツールや開発技術がマッチしていたことも決め手の一つとなりました。

セミナーで参加まで、カサレアルのことを全くご存知なかった鶴見マネージャ、本間様でしたが、現在はカサレアルに信頼を寄せていただいています。新人研修のみならずPivotal Labsの提供元であるPivotalの認定トレーニングパートナーとしても、様々なご提案の機会をいただいています。

▶ 新人研修の様子

カサレアルの新人研修は“多様なテクノロジーや変化に適應できるエンジニアの育成”をテーマに、実際に手を動かしてクラウドサービスを開発するハンズオンが中心となっています。

前半約20日間で、①システム開発概要（システム開発の流れやGitの使い方）②クライアント・サイド編（JavaScript等）③サーバー・サイド編（Java+Spring Boot等）を学びます。後半約20日間では、Webシステム構築ワークショップとして『民泊紹介サイト』を題材にしてアジャイル開発プロセス（SCRUM）によるチーム開発を体験していただきます。

▼学習対象のシステムアーキテクチャ

Webブラウザ

Single Page Application

React

JavaScript

APサーバー

RESTful Web Service

Spring Boot

Java

DBサーバー

Relational Database

PostgreSQL

Database

お客様事例：新入社員研修

▶ 日本事務器株式会社様

受講者たちは「新しい知識ばかりで難しい」という感想を口にしながらも意欲的に、研修に取り組んでいました。早い段階からWebブラウザで実行結果を見ることができるため、「今、学んでることがどこに活かされるか?」を理解しながら学べたことがモチベーションを高めることに寄与したと考えています。システム構築ワークショップではチームに分かれて3回にわたるスプリントを実施しました。1回目は「リポジトリにコミットする際にコンフリクトを起こす」等いろいろな失敗により全チーム完了基準を満たせませんでした。しかし、2回目・3回目と続けることで最後には全チームが機能をリリースできました。実は導入前に、日本事務器様の新入社員はシステム開発経験のない文系の方が多く、アウトプット中心のカリキュラムは難しいのでは?という声もありました。

しかし研修終了時には、文系出身の方も含め全受講者が自分たちで考えた機能やデザインをWebアプリケーションとして形にするだけの能力を身につけていただくことができました。また開発支援ツールを利用しながらアジャイル開発プロセスを体験していただくことで、システム開発の一連の流れを理解し、コミュニケーションの大切さやコラボレーションするうえでの注意点などについても気づいていただくことができました。新入社員研修として一定の成果をあげることができたのではないかと考えています。

先輩社員が新人に「この案件のバックログ作ろうか?」と声をかけているところを目にしました。昨年まではその後に詳しい説明が必要でしたが今回の新人は追加の説明なくバックログの作成に移っていました。自分の携わる仕事の全体像がイメージ出来ている証拠だと思いました。先輩社員からも自分たちも受けたかったとの声が上がっていました。



カサレアルでは今回ご紹介したように開発支援ツールを活用してアジャイル開発プロセスを実践しながら、近年主流のアーキテクチャーで幅広いテクノロジーを学ぶ新人研修を提供しています。ご興味のある方はぜひお問い合わせください。

▶ 現場ですぐ手を動かせる人に

新入社員研修全体を通してのご感想を皆さんにお伺いしました。

■以前の新人研修ではプロジェクトマネジメントに重きが置かれていて、「タスクやスケジュールをどう管理するか」が主題となっていた。もちろん現場で必要なことではあるが、『モノを作る』という感覚が身につくのだろうかという不安があった。今回の新人研修では、スプリントのたびに「もっと良くするためにはどう改善していくか?」を自分ごととして捉え取り組んでいるように見受けられた。

■チームで開発するということはどういうことなのか、言語や開発ツール、アジャイルなどそれぞれを切り離した内容ではなく一気通貫で体験させられたと思っている。

■成果発表会では、それぞれのチームが必要と感じた機能を実装したため、思い入れを持って自分たちのシステムを紹介していたことが印象に残っている。以前の成果発表会は思うような成果物が完成しなかったことを考えると、「モノづくり」の楽しさをしっかり味わえた新人研修だったのではないか。

最後に新人研修終了後の様子をお聞きすると、早速現場で活躍している様子をお伺いできました。

お客様プロフィール

商号	日本事務器株式会社（略称：NJC）
創業	大正13年（1924年）
資本金	3.6億円
従業員	単体：899名 グループ全体：1,149名
売上高	291億円
事業内容	トータルソリューションサービス コンサルティング ー経営 ー情報システム 情報システム開発 情報システムの運用と保守 ーシステム運 ーメンテナンス ー監視サービス ーヘルプデスク